

教育関係者必見!

先生・学校運営を支援する教育データの 効果的な活用方法がわかる!

情報化の進展に伴い、学校教育にも先端技術を効果的に活用し、教育の質を向上させることが期待されています。文部科学省では、学校で活用が進んでいる校務支援システムや授業支援システムにおけるデータを連携させ、個々の児童生徒の状況や学びを可視化し、教育の質の向上を図る実証事業を平成29年度から行ってきました。先生や学校運営を支援する教育データの効果的な活用方法について、これからの学校教育のスタンダードとなる先端技術・データ活用的一端を知るチャンスです。ぜひ御参加下さい。



日時

令和2年 **3月10日** (火) 12:30~16:15

場所

文部科学省本館講堂

中央合同庁舎第7号館 東館3階
東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

交通案内

東京メトロ銀座線
「虎ノ門駅」11番出口 直結
丸の内線・千代田線・日比谷線
「霞ヶ関駅」A13番出口 徒歩5分

※合同庁舎第7号館の西館と東館の間にある2階共用ロビーから、お入りください。文部科学省正面玄関からは、入ることができません。



対象

どなたでもご参加いただけます。

学校や教育委員会等の教育関係者、校務系システムや授業・学習系システムを開発する事業者等

参加費

無料

お申込み

ホームページからお申し込みください。

<https://nttls-edu.jp/form/forum20200310>

※本案内状を印刷してご持参ください。入館・再入館の際に必要となります。



お問い合わせ

文部科学省 初等中等教育局情報教育・外国語教育課

TEL 03-6734-3263

MAIL jogai@mext.go.jp

合同成果報告会

文部科学省「エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業
総務省——スマートスクール・プラットフォーム実証事業

学校における先端技術・データ活用 推進フォーラム

最終案内



Q 教育データを活用するって、どういうこと？

エビデンスに基づいた学校教育の改善に向けた実証事業とは

今、先端技術や教育データを学校で活用し、教育の質を向上させていくことが求められています。文部科学省では、学校で扱われる校務に関する情報や学習に関する情報等、様々なデータを収集・連携させ、学習指導や生活指導、学級・学校運営等の教育の質の向上を図る事業を平成29年度から行ってきました。本事業では、校務系システムと授業・学習系システムを連携させるための技術的課題の整理等も行うため、総務省と連携して実施しています。

Q 学校の中で、こんな困りごとはありませんか？

他教科や前年度までの子どもの様子が分からない。



教員間で子どもたちの情報をなかなか共有できない。



保護者面談の準備をするときに、その子どもの色々な情報をまとめるのが大変。



データを見える化すると、こんなに便利に！

日々の教育活動における様々なデータを取得

取得したデータを連携させ、分かりやすく可視化

可視化されたデータを基に、指導・支援に活用

児童生徒アンケートや学習ドリルデータ、作品など、**授業・学習**に関するデータ



各種データを連携・可視化

教育データ可視化システム※1

例

児童生徒の状況を可視化

児童生徒の学習や生活の状況が個別にわかる



学級の状況を可視化

学級全体の学習や生活の状況、その傾向が分かる



学校全体の状況を可視化

学校全体の学習指導や生活指導の状況が分かる



※1：データ可視化システムとは…授業・学習系システムや校務系システムと連携して、それらのシステムが蓄積しているデータを集約し、児童生徒の状態等を可視化・分析するシステム。

なるほど！



可視化されたデータをもとに学校や学級、児童生徒の状況を迅速に把握できる

エビデンスに基づいた確かな指導・支援

例

学習指導の充実

つまずきの早期発見や個に応じた学習指導等



生活指導の充実

問題の早期発見と適切な対応



学校経営の充実

エビデンスに基づく学校経営方針の立案等



保護者への情報提供

説得力のある説明



出欠席情報や成績情報、保健室記録など、**校務**に関するデータ



Q 教育データを効果的に活用すると、 どんなことができるの？

生活面の状況把握と個に応じた指導

発表：福島県新地町



児童生徒アンケート結果と、協働学習支援ツールの学習履歴等を基に、気になる児童に対して支援を行った。

教育データ可視化システムがあると…
普段の様子からは見取ることができない児童生徒同士の関係性が把握できる。



学年全体での情報共有による組織的な支援

発表：東京都渋谷区



テスト結果や、出欠席、保健室利用記録等を基に、ベテラン教員の課題意識を若手教員と共有し、指導を行った。

教育データ可視化システムがあると…
教員同士で児童生徒の情報が共有され、組織的に支援できる。



生活面の状況把握に基づく学校経営の充実

発表：大阪府大阪市



児童の気持ちや日常所見等を基に、全児童生徒の概況を把握し、担任への声かけに活かした。

教育データ可視化システムがあると…
教員間のコミュニケーションが活発になり、管理職の指導支援や、若手育成にも役立つ。



つまずきの早期発見と個に応じた指導

発表：奈良県奈良市



児童生徒アンケートと日常所見等を基に、前年度より学習意欲が下がった児童について教員間で共有し、指導を行った。

教育データ可視化システムがあると…
前年度までの児童生徒の情報も踏まえて、つまずきの原因を探ることができる。



保護者への説得力のある説明

発表：愛媛県西条市



テスト結果や、学習意欲、成果物等を保護者面談で提示することで、保護者の理解を深めた。

教育データ可視化システムがあると…
テストや学習意欲の変化をグラフで示しながら、成長過程やつまずきを具体的に説明できる。



本フォーラムの概要紹介動画を、
Youtube文科省チャンネルにて配信しております。ぜひご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=_bhgrFWZLVU



フォーラムでは、さらに詳しくシステムや活用事例について紹介します！

プログラム(第1部)

予定時間	タイトル	内容
12:00-12:30	開場	
12:30-12:35	開会	
12:35-12:55	行政説明	文部科学省と総務省より、国の動向や本事業の趣旨について説明します。
12:55-13:05	データ活用の全体像の説明	学校での教育データ活用の流れや、開発された教育データ可視化システムなど、本事業の概要を説明します。
13:05-15:45	パネルディスカッション ※途中15分休憩時に、実証地域によるポスターセッションがあります。 コーディネーター 千葉県総合教育センター 所長 秋元 大輔氏 北海道開発技術センター地域政策研究所 参事 新保 元康氏 パネリスト 実証地域の教育委員会、学校 テーマ 先生・学校運営を支援する教育データの効果的な活用方法とは	データ活用・連携の好事例について、各地域の実践をもとに発表します。
15:45-15:55	個人情報保護・情報セキュリティについて	データ活用・連携をする際の情報セキュリティ上の留意点について説明します。
15:55-16:15	効果検証・まとめについて	本事業の教育効果について説明し、事業全体のまとめを行います。
16:15	閉会	
16:15-16:45	実証地域によるポスターセッション	各実証地域で実際に活用しているシステムを用いたデモンストレーション及び実践紹介をします。

※閉会后、同じ会場で総務省「スマートスクール・プラットフォーム実証事業」成果報告会が開催されます。(第2部 16:30-17:30)※本フォーラムはペーパーレスで行います。配付資料が必要な方は、当日提示するURLから各自ダウンロードしていただけます。なお、会場にはフリーWi-Fi環境がございませんので、あらかじめ御了承下さい。

実証地域によるポスターセッション

各実証地域で実際に活用しているシステムを用いたデモンストレーション及び実践紹介をします。

時間 ① パネルディスカッション休憩中 ② 16:15~16:45 場所 文部科学省本館講堂 ロビー

各地域の担当者と話せる!

実際に活用しているシステムを間近で見られる!



事業推進委員会(敬称略)

清水 康敬 / 東京工業大学 名誉教授 (事業推進委員長)
 秋元 大輔 / 千葉県総合教育センター 所長
 加藤 崇英 / 茨城大学大学院教育学研究科 教授
 加藤 剛史 / 静岡県立磐田南高等学校 教頭
 新保 元康 / 北海道開発技術センター地域政策研究所 参事
 高橋 邦夫 / 合同会社KUコンサルティング 代表社員
 田島 康義 / 三鷹市教育委員会教育部総務課 担当課長
 玉置 崇 / 岐阜聖徳学園大学教育学部 教授
 藤村 裕一 / 鳴門教育大学大学院 遠隔教育プログラム推進室長 准教授



「教育の質の向上に向けた効果的なデータ連携・活用のポイントと学校改善事例集」をWebで公開中。令和元年度の成果を踏まえ、今年度版も鋭意作成中です。

[URL]
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1387543.htm

併せて下記事業の成果報告会への参加も御検討下さい。

文部科学省
「統合型校務支援システム導入実証研究事業」
成果報告会
 日時 **3/6** 金 場所 文部科学省第二講堂
 令和2年

文部科学省 **「遠隔教育システム導入実証研究事業」**
成果報告会
 日時 **3/9** 月 場所 文部科学省本館講堂
 令和2年